

社会福祉法人愛の園福祉会 介護福祉施設いとまんシャトー

代表者名	大城 初美		
所在地	糸満市字大里927番地の2		
電話	098-995-2500		
主要業務	高齢者介護福祉施設、入所介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援等		
従業員数	91人	うち男性	24人
		うち女性	67人
創業	1997年（平成9年）		



《人材育成に関する主な取り組み》

【ビジョンと人材像の浸透・共有】

高い公共性と倫理性をもったビジョン達成へ向け「初任者研修（3年未満）」「中堅者研修（3～8年）」「ベテラン研修（8年以上）」を行い、経営陣、中間管理職、一般職員ギャップを埋めている。

【相互に学び支援し啓発し合う組織】

施設開所以来（平成9年）全職員を対象に毎月1回の「サービス向上委員会」を開催。講師はベテラン職員を主体としつつ、スタッフの意見も内容に反映。

【仕事及び必要能力の体系化・可視化と自身の能力水準の把握】

平成24年度より「動画マニュアル」を自主作成。「動画マニュアル」の作成を通じ、必要とされる介護スキルの可視化、仕事に対する気づきの促進、スタッフ間のコミュニケーションの向上が見られる。

エイアンドダブリュー沖縄株式会社

代表者名	平良 健一		
所在地	浦添市牧港1196 2階		
電話	098-878-2362		
主要業務	ドライブインレストランの経営、レストラン関係の資材及び材料の輸入販売		
従業員数	821人	うち男性	242人
		うち女性	579人
創業	1963年(昭和38年)		



《人材育成に関する主な取り組み》

【ビジョンと人材像の実質化】

創立50周年を機に企業理念とビジョンを更新。そのプロセスに課長・係長が参画することで理解、納得を高めている。更に継続的勉強会でその内容を取り上げ、店舗活動、行動へ反映させる。

【職場育成機能を補完する人材育成投資】

毎月キャリアアップ講座開催。外部講師による様々なテーマでの学びの機会を確保し、学んだことはすぐ店舗で実践できるような内容にし、高い参加率を維持している。

【コミュニケーションを通じた人材育成】

考課者勉強会、スーパーバイザーの増員等、フィードバックの質をより高める取り組みを実施。フィードバックは上司部下のコミュニケーション促進の機会として強化をはかる。

株式会社沖縄メディコ

代表者名	宮城 辰也		
所在地	浦添市勢理客3-3-11		
電話	098-876-5280		
主要業務	医療機器販売・保守業		
従業員数	65人	うち男性	44人
		うち女性	21人
創業	1973年（昭和48年）		



《人材育成に関する主な取り組み》

【キャリアステップの提供による成長の継続】

5年後までの会社の将来像を1年ごとに示したロードマップがパンフレット冊子と携帯用の冊子で共有されており、社員は会社の目指す将来像及び自分の目標を日々確認している。

【十分な初任者導入教育】

新入社員には先輩社員が1年間メンターとして日々相談を受ける制度を導入している。最初の半年は人間関係や環境に慣れる観点から他部署の先輩、その後は同じ部署の先輩がメンターとなる。

【個人に焦点を当てた人間尊重の風土と人への関心】

サンキューカードの取組を実施。自分に対して良いことをしてくれた人に対してサンキューカードを通じてお礼を伝えるだけでなく、その行動を社内全体でも発表し、共有している。

株式会社いきがいくリレーション

代表者名	田村 浩介		
所在地	沖縄市大里二丁目7番10号		
電話	098-989-3645		
主要業務	介護保険に基づく通所介護・介護予防通所介護事業		
従業員数	13人	うち男性	5人
		うち女性	8人
創業	2011年（平成23年）		



《人材育成に関する主な取り組み》

【ビジョンと人材像の明確化】

企業理念をもとにスタッフ間で理念に基づいた行動について話し合いを実施し、「スタッフの心得」としてカードをまとめ、全スタッフに配布。理念に沿ったサービスの提供について話し合っている。

【仕事における背伸びを通じた能力開発と成長】

スタッフが夢や目標を持つことを積極的に勧め、その実現のための研修受講や学会での発表などの成長の機会を積極的に与える人材育成を行っている。

【相互に学び支援し啓発し合う組織】

毎月定期的に行われる研修会では、リハビリ職や介護職など各自の専門的な見地から意見を出し合い、臨床の場で分からないことや困ったことについて解決策を導いている。

オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社

代表者名	片平 聡		
所在地	那覇市おもろまち1-1-2 那覇新都心センタービル3F		
電 話	098-951-1551		
主要業務	コンタクトセンター・事務センター		
従業員数	843人	うち男性	90人
		うち女性	753人
設 立	1999年(平成11年)11月		



《人材育成に関する主な取り組み》

【相互に学び支援し啓発し合う組織】

マルチスキルの修得を目標に掲げており、チーム間や事業所間で繁忙期のチームの業務を支援する仕組みを整備。一般社員は複数領域の業務知識、リーダー層も複数領域の管理スキルを習得できる。

【十分な初任者導入教育】

1年目、2年目、3年目にそれぞれ研修を実施しているほか、環境が変わった際にはリーダー研修やトレーナー研修を実施。また、昇進・昇格社員を対象にストレスチェックも実施。

【仕事および必要能力の体系化・可視化と自身の能力水準の把握】

業務進捗状況を可視化し、必要なフォローを行い、人事考課への反映など、評価基準を含め社員と共有している。

社会福祉法人育成福祉会 沖縄中央育成園

代表者名	理事長：安里盛一／施設長：稲福浩和		
所在地	南風原町宮平 5 4 8 - 1		
電 話	098-889-4100		
主要業務	第一種社会福祉事業（障害者支援施設・福祉型障害児入所施設）、第二種社会福祉事業（生活介護事業・放課後等デイサービス・児童発達支援事業）		
従業員数	79人	うち男性	32人
		うち女性	47人
創 業	1965年（昭和40年）		



《人材育成に関する主な取り組み》

【ビジョンと人材像の明確化】

施設利用者に対する行動規範などを明記した「倫理要綱」によって職員全員に共有されており、ワールドカフェと呼ばれる自由な雰囲気意見で意見を述べ合う場で倫理要綱に関するディスカッションを実施している。

【フィードバックによる気付きを通じた能力開発】

研修受講後や新たな業務を学んだときなどに、フィードバックレポートを作成し、レポートを全職員で共有している。

【高い視線や広い視野を持ったキャリア自律の意識の形成】

各部署からの代表メンバーで構成される研修委員会が、職員のキャリア形成を支援。受講歴を参照して研修テーマを決定したり外部講師を招く研修についての予算管理、受講者調整などを行っている。